

事業優先順位		3 細事業:高齢者相互支援推進事業				整理番号		03							
目的		地域社会における交流や、高齢者が相互に支援しあうことを促進するとともに、高齢者の生きがいを高め、地域における見守り機能の増進を図る。													
目標		相互支援活動のさらなる充実を図る。													
事業実施主体		直営	事業開始年度	平成13年度以前	根拠法令	在宅高齢者福祉対策補助金交付要綱									
事業費・財源				平成24年度	比較		コスト情報・従事職員数				平成24年度	比較			
	事業費 (決算額) (千円)			2,000				総コスト (千円)			3,587				
	財源内訳	一般財源			667			内訳	事業費			2,000			
		国府支出金			1,333				人件費			1,587			
		地方債			0				公債費			0			
		その他特定財源			0				一人あたり (円)			32			
					0			世帯あたり (円)			76				
					0			参考	職員数 (人)			0.20			
				0					再任用職員数 (人)			0.00			
	今後の方向性		地域における相互支援の充実を図る。												
評価	妥当性		効率性		有効性		対象者	老人クラブ会員 約8,000人							
	A		A		B										



細事業：高齢者相互支援推進事業

1. 高齢者相互支援推進事業

介護、援助等を要する在宅高齢者とその家族に対する支援を目的として、寝たきり、ひとり暮らし等の高齢者宅を訪問し、高齢者相互支援についての啓発普及を図るため、市老人クラブ連合会※に対して助成を行った。

補助金額 2,000,000 円

※ 市老人クラブ連合会

…老人クラブ活動を充実強化し、老人クラブ会員の親睦と福祉の向上を図ることを目的とした事業を実施しており、各地区の単位老人クラブ会員をもって組織されている。

